

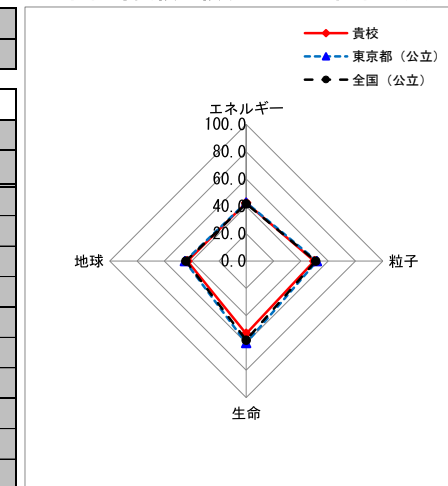
・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。
 ※ただし、4月19日に調査を実施していない学校については、4月20日以降5月20日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数	江戸川区立小岩第四中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	128	70,870	892,585

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体			48	51	49.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	42.6	42.8	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	49.8	51.8	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	53.3	60.1	57.9
	「地球」を柱とする領域	6	43.1	44.9	44.3
評価の観点	知識・技能	7	46.8	46.9	46.1
	思考・判断・表現	14	49.3	52.3	51.0
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	15	50.6	50.6	49.6
	短答式	1	11.7	25.3	24.8
	記述式	5	49.4	55.3	53.5

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



結果分析・課題

- ・問題形式の「短答式」、「記述式」が全国に比べて低かった。特に短答式に関しては全国に比べ10%以上下回る結果となった。
- ・選択式の問題に関しては、ほぼ全国平均と同じ正答率であった。
- ・エネルギーと粒子（水素エネルギー）、地球（天気図）の単元では全国平均を下回った。
- ・知識を関連付けることに苦手意識があるということが結果から明らかになった。

授業改善のポイント

- ・単なる知識問題だけでなく、自分の言葉で表現する問題に取り組ませる必要がある。
- ・知識を活用する実験を多く行い、知識の定着を図る授業を行う。
- ・生徒の発言を増やす授業展開をし、主体的に取り組める授業を行う。
- ・生徒の発言を吸い上げ、多角的な視点で物事を考えられる授業を行う。
- ・授業のまとめを教員がするのではなく、生徒が自分の言葉を用いてまとめさせることで、自分の考えを文章に起こす力を養う。